



沿革

自然の良港を持つ尾道は、平安時代の嘉応元年(1169年)、備後大田荘(後、高野山領)公認の船津倉敷地、荘園米の積み出し港となって以来、対明貿易船や北前船、内海航行船の寄港地として、中世・近世を通じて繁栄をとげます。各時代は豪商を生み、多くの神社仏閣の寄進造営が行われました。

明治22年(1889年)町村制施行に伴い尾道町となり、明治31年(1898年)には広島市に次ぎ県内で2番目に市制を施行。平成10年(1998年)4月1日、市制施行100周年を迎えています。

歴史

年号	西暦	事項
推古24年	616	聖徳太子により浄土寺が創建されたと伝えられる
天平年間	730	行基により西国寺が創建されたと伝えられる
嘉応元年	1169	尾道村を備後大田荘の倉敷地として申請、認可され、尾道港が公認の港となる
嘉暦2年	1327	浄土寺再々建される
建武3年	1336	足利尊氏再度浄土寺参詣
応永27年	1420	朝鮮通信使船尾道へ寄港
宝徳3年	1451	対明貿易船団が尾道で輸出貨積み込む
寛文12年	1672	河村瑞賢氏により西回り航路が開かれる(北前船尾道寄港)
寛保元年	1741	町奉行平山角左衛門氏、住吉浜を築造
文政2年	1819	尾道～大阪間定期船便開設
明治6年	1873	尾道に住友分店が置かれる
7年	1874	広島県支庁が置かれる
9年	1876	尾道町、後地村と合併
22年	1889	町村制施行
24年	1891	山陽鉄道福山～尾道間開通(尾道駅開業)
25年	1892	山陽鉄道尾道～糸崎間開通
		尾道商業会議所(尾道商工会議所の前身)開設
27年	1894	三木半左衛門氏ら千光寺山に共楽園築造開始(明治35年尾道市へ寄付)
30年	1897	尾道～今治航路開設
31年	1898	広島県で2番目に市制施行
39年	1906	山陽鉄道国有化
40年	1907	電話が開通(加入者141人)
大正4年	1915	県内で最初に市立図書館を開館
9年	1920	山口玄洞氏寄贈の基金で尾道市実業補習学校(市立南高校)創立
		第1回国勢調査(尾道市/世帯数6,182、人口26,466人)
11年	1922	尾道市営職業紹介所(尾道公共職業安定所の前身)開設
12年	1923	山口玄洞氏の寄付金で尾道市上水道事業に着手(大正14年給水開始)
14年	1925	尾道鉄道開通
昭和2年	1927	第二種重要港湾尾道糸崎港として開港する
11年	1936	尾道市立厚生病院(市民病院)開設
12年	1937	御調郡栗原町、吉和村と合併(4月1日)
14年	1939	沼隈郡山波村と合併(7月1日)
21年	1946	市立女子専門学校開学
25年	1950	尾道短期大学を開学
26年	1951	御調郡深田村大字久山田(久山田町)と合併(4月1日)
		国道2号開通
		第6回国体(尾道市会場ボクシング・女子ソフトボール開催)
29年	1954	御調郡美ノ郷村、木ノ庄村、原田村と合併(3月31日)
30年	1955	沼隈郡高須村、西村と合併(2月1日)
		沼隈郡百島村と合併(4月1日)
32年	1957	沼隈郡浦崎村と合併(1月1日)
		ロープウェイ開通
43年	1968	尾道大橋開通
		今治市と姉妹都市盟約締結

また周辺市町との合併を経て、点在する寺院や840余年の歴史を凝縮した景観を有する尾道水道周辺地域をはじめ、緑豊かな北部丘陵地域から独特の多島美の瀬戸内海地域に至る、多彩な資源を有するまちとなっています。

さらに、瀬戸内のほぼ中央に位置し、山陽新幹線新尾道駅や、山陽自動車道、瀬戸内しまなみ海道に加え、平成27年(2015年)3月に全線開通した中国やまなみ街道(中国横断自動車道尾道松江線)など、交流の結節点としての機能が集約し、「瀬戸内の十字路」としての発展が大いに期待される魅力ある都市です。

年号	西暦	事項
45年	1970	御調郡向東町と合併(4月1日)
47年	1972	尾道バイパス全線開通
49年	1974	市の木に「桜」を選定
53年	1978	市民憲章制定
55年	1980	市立美術館オープン
58年	1983	市民病院(現)完成
		因島大橋開通
63年	1988	新幹線新尾道駅開業
平成元年	1989	海と島の博覧会(尾道会場)開催
3年	1991	生口橋開通
5年	1993	びんご運動公園開園
6年	1994	東出雲町と産業文化友好交流都市盟約締結
		広島アジア競技大会(尾道市会場サッカー開催)
8年	1996	市の花に「桜」を選定
		山陽本線東尾道駅開業
		第51回国体(尾道市会場テニス・ソフトボール開催)
10年	1998	市制施行100周年記念事業(記念イベント“おのみち百祭”開催)
		オンフルール市(フランス)と友好都市関係樹立
11年	1999	新尾道大橋・多々羅大橋開通/瀬戸内しまなみ海道全橋開通
		しまなみ交流館(テアトロシェルネ)開館
12年	2000	尾道駅前地区市街地再開発事業完了
13年	2001	尾道大学開学
14年	2002	しまなみ球場オープン
15年	2003	市立美術館リニューアルオープン
17年	2005	御調郡御調町・向島町と合併(3月28日)
		尾道大学大学院設置
		市技に「閉基」を制定
18年	2006	因島市、豊田郡瀬戸田町と合併(1月10日)
20年	2008	本因坊秀策閉基記念館オープン
21年	2009	尾道市民センターむかいしまオープン
22年	2010	尾道自動車道(尾道JCT～世羅IC間)開通
24年	2012	松江市と姉妹都市盟約締結
		尾道市立大学に改称
		海フェスタおのみち開催
25年	2013	釜山広域市中区(大韓民国)と友好交流意向書締結
27年	2015	中国やまなみ街道全線開通
		尾道水道が日本遺産に認定
		村上海賊が日本遺産に認定
28年	2016	嘉義市(台湾)と友好交流協定締結
29年	2017	台中市(台湾)と友好交流協定締結
30年	2018	北前船寄港地・船主集落が日本遺産に追加認定
31年	2019	尾道駅新駅舎開業
令和2年	2020	市庁舎(現)オープン
4年	2022	千光寺頂上展望台「PEAK」(現)オープン
5年	2023	まちなか文化交流館「Bank」完成

尾道市の市章



明治31年(1898年)制定

上の細い部分が向島、下の広い部分が尾道、その間の部分が尾道水道をそれぞれシンボル化したものという説が有力である。そのほか、尾道の別名“玉の浦”の名の起源である千光寺の玉の岩を象徴化した、あるいは足利氏の家紋(二引両)に由来するなどの説もある。

概略地図 面積284.88km²



市の木・市の花

桜



市の木 昭和49年(1974年)5月1日選定
市の花 平成8年(1996年)6月26日選定

市技

囲碁



平成17年(2005年)12月21日制定
平成18年(2006年)1月10日施行

姉妹都市

愛媛県今治市

昭和43年(1968年)7月15日締結



島根県松江市

平成24年(2012年)2月5日締結



友好交流都市

オンフルール市 (フランス)

平成10年(1998年)5月13日樹立



釜山広域市中区 (大韓民国)

平成25年(2013年)5月24日締結



嘉義市 (台湾)

平成28年(2016年)12月22日締結
平成29年(2017年)9月29日締結



フルーツのみち



海のまち尾道



ベッチャー三鬼神



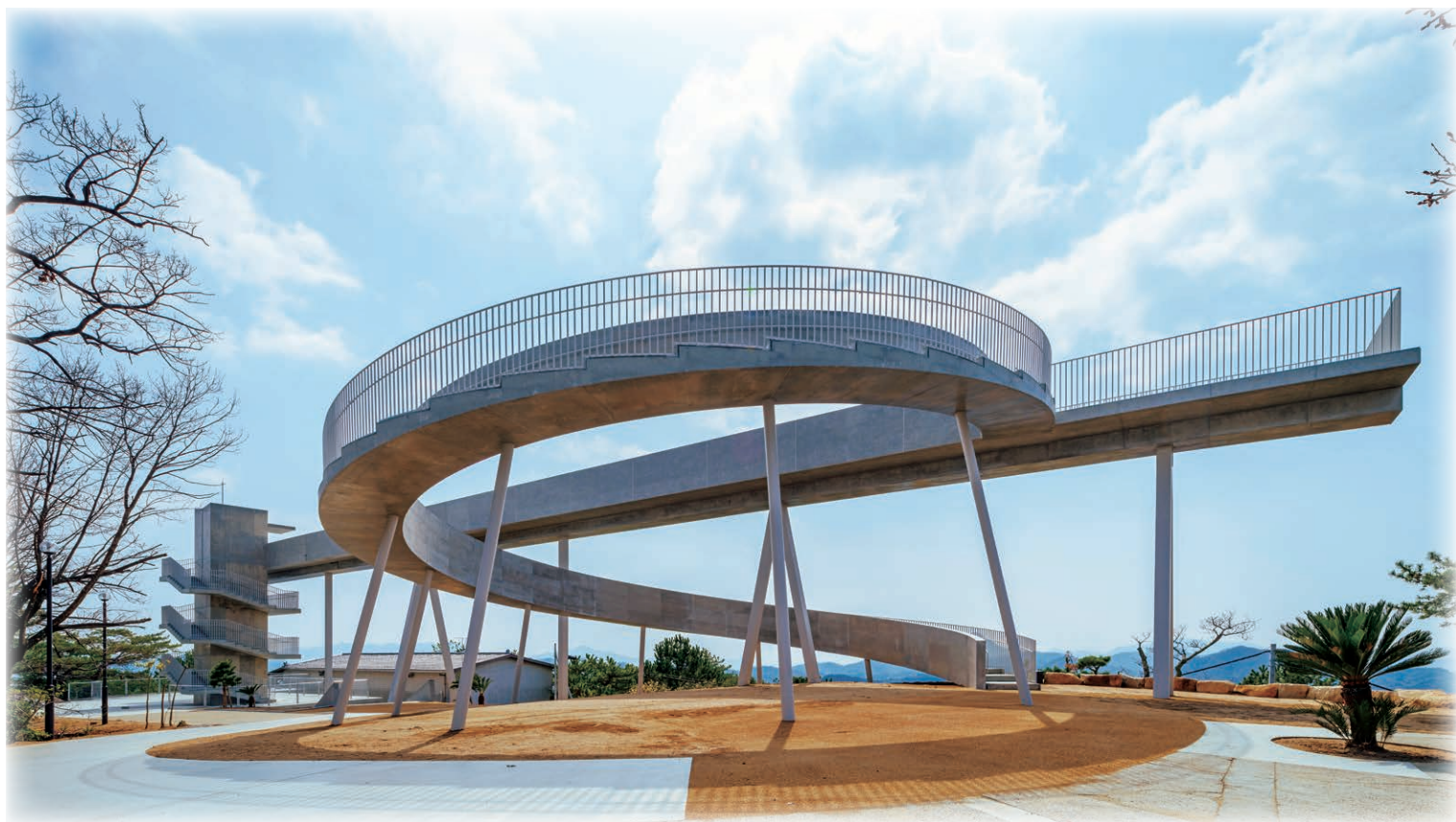
文化芸術創造都市尾道



スポーツ無限大おのみち



サイクリングタウン尾道



上：千光寺頂上展望台(PEAK) / 下：尾道水道

令和5年(2023年)版市勢要覧

広島県 尾道市

〒722-8501 広島県尾道市久保一丁目15番1号
TEL(0848)38-9111 FAX(0848)37-2740

発行／尾道市総務部秘書広報課

尾道市HP



尾道市LINE

